

令和7年度 東京科学大学

理, 工, 物質理工, 情報理工, 生命理工, 環境・社会理工学院

学士課程編入学 学生募集要項

	一般入試	特別入試 (生命理工学院のみ)
出願期間	令和6年 7月10日(水)~12日(金)	令和6年 5月29日(水)~5月31日(金)
試験期日	令和6年 8月21日(水)・22日(木)	令和6年6月19日(水)
合格者発表日	令和6年9月4日(水)	令和6年7月9日(火)

東京工業大学は東京医科歯科大学と令和6(2024)年10月1日に統合し、東京科学大学となります。

なお、この選抜に合格した者は、東京科学大学の学生として入学することになります。

令和6年4月

入学希望者へのメッセージ

誰も見たことのない未来をつくりだせ

世界はいまだ謎に満ち、課題にあふれています。生命はいかにして誕生したのか。人工知能は医療を、経済を、社会を、どう変えるのか。病に伏した人をどう癒すのか。宗教間の対立は止むことはなく、エネルギー問題も重くのしかかっています。一朝一夕には答えの見いだせないこうした謎や課題をめぐって、いまこの瞬間も、世界中の科学者や技術者、その他各分野の専門家たちが、その叡智をかけて議論しあっています。真理の探究と幸せの追求をかけた人類のあくなき挑戦。その壮大な歩みに、あなたは仲間入りしようとしています。

1881年に創立されて以来、時代を切り拓くフロントランナーとして、理工系総合大学としての使命を担ってきた東京工業大学。目指すのは、科学技術の強い基盤を持ちながら、従来の“理系”の枠を超え出ること。なぜなら、どんなに高度で専門的な知識でも、ただそれを持っているだけでは、わくわくするような発見や発明に出会うことも、困難な問題を解決に導くことも、決してできないからです。だからこそ、本学の門を叩こうとするあなたには、以下のような心構えを持ってのぞんでほしい。“理系”の枠に安住しない人を、本学は求めています。

①高い志を持ってほしい

これからの時代、ただ引かれたレールに乗っかっていくだけ、ただ自分の専門に没頭するだけでは通用しません。あなたは将来、何を為したいのか。社会に、どんな貢献をしたいのか。高い志を持ち、それを育てる人であってほしい。その志にかたちを与えるのが科学技術です。東工大は、志をかたちにしようとする人を支えます。失敗をおそれず挑戦し、すすんで学ぶ人を歓迎します。

②多角的な視点を持ってほしい

常識や「空気」にとらわれた思考では、新しい発想は生まれません。自分の強みを持ちつつ、幅広い分野に興味を広げ、専門の異なる人や文化の異なる人とも協働できる柔軟な姿勢を持って、世界にはばたいてほしい。ものごとを多角的にとらえる視点からこそ、「そんな考え方もあったのか!」と人々を驚かせるアイデアは生まれます。人と人、知と知を結びつけようとする人を本学は求めます。

さあ、誰も見たことのない未来を、ともに作り出していきましょう。気概あるみずみずしい知性と出会えることを、期待しています。

<学士課程> 入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

求める人材像

科学技術への知的好奇心や探究心と社会に貢献したいという志を有し、その基本的概念や基礎知識とそれを活用できる力を身に付けた人材を求めます

求める力

専門力	理数系分野に関する基本的概念や基礎知識
教養力	社会に関する基礎的知識と語学力
コミュニケーション力	自らの考えを具体的に表現できる力
展開力	論理的に思考して自らの知識を活用できる力

東京科学大学への統合に際し、アドミッション・ポリシーが変更となる場合は、本学「高校生・受験生向けサイト」(巻末参照)等で改めて公表します。

各学院が求める人材像

【理学院】

理学院学士課程では、幅広い教育と自由な発想に基づいた研究を通じて、社会や文化の発展に広く貢献することを目指しています。そのために次のような学生を求めます。

- ・自然界の仕組みについて深く知りたいという強い好奇心を持つ人
- ・教わるだけでなく、自ら主体的に学ぶことができる人
- ・自分の意見を持ち、他者と議論することができる人
- ・十分な学力と表現力を持つ人

【工学院】

工学院学士課程では、人の生活を豊かで快適なものとするための工学的知識・技術を習得し、さらにそれらを進化させるための研究活動の基本を身につけます。そのために、次のような人材を求めます。

- ・工学的知識・技術を活かして人類と社会の発展に貢献しようという高い志を有する人
- ・自らの能力向上のために積極的に学ぶ意欲をもつ人
- ・工学を学ぶために、理数系科目を中心とする確実な基礎学力を身につけた人
- ・論理的思考力を有し、他者と意思疎通できる基本的なコミュニケーション力を備えた人

【物質理工学院】

物質理工学院学士課程では、材料科学および応用化学に関する確かな基礎学力と明快な論理的思考力を持ち、環境調和型社会の発展に貢献できる人材を養成します。そこで、次のような学生を求めます。

- ・自然科学の幅広い分野について基礎学力を有し、柔軟な発想ができる人
- ・材料や応用化学に関係する諸現象について積極的に学習する意欲がある人

【情報理工学院】

情報理工学院学士課程では、よりよい情報化社会を築くために必要となる情報工学に関する幅広い知識と柔軟で広い視野を持った人材の育成を目指します。そのために、次のような資質と能力を持つ人材を求めます。

- ・数学や理科に関する十分な基礎学力を有する人
- ・数理学に興味を持ち、コンピュータの仕組みや活用法に興味を持つ人
- ・情報工学の知見を活かし情報化社会の発展に貢献したいという志を有する人

【生命理工学院】

生命理工学院学士課程では、理工系の基礎知識や生命理工学分野の基礎的専門知識を修得させ、生命工学に関連した科学・技術の発展に資する課題解決力と倫理観を養います。そこで、本学院では次のような能力と適性をもつ人材を求めます。

- ・自然科学の基本的な概念や考え方を身に付け、応用できる力を有している人
- ・論理的に思考し、集中してものごとに取り組むことができる人
- ・生命理工学の専門教育で必要となる基礎的な語学力を有している人
- ・生命現象を探究し、科学・技術の発展に貢献する意欲を有している人

【環境・社会理工学院】

環境・社会理工学院学士課程では、人類と社会の持続的発展に貢献するために理工学的叡智に加えて人文社会科学の叡智を広く環境や社会に応用・展開して卓越した学術・技術を創生するとともに、高い知性と豊かな教養、国際的な広い視野と深い思考能力を備え、科学・技術の専門家として社会で活躍できる人材を養成する。そこで、本学院では特に次の能力と適性を持つ人材を求めます。

- ・理数系分野に関する基本的な概念や確実な基礎知識を持つ人
- ・学士課程の専門力を身につけるため必要となる基礎的な語学力を持つ人
- ・自らの能力向上のため主体的に理工学分野ならびに人文社会科学分野について学ぶ意欲を持つ人
- ・人類と社会の持続的発展に貢献しようという高い志を持つ人



本学では、以下に記載している「教育目標」と「養成する人材像」を掲げるとともに、全学及び各系で「卒業認定・学位授与の方針（ディグリー・ポリシー）」、「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」、「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」を定め、教育ポリシーとして位置づけています。

・教育目標

知的好奇心に端を発した学術研究は新たな技術と産業を生み、不可能を次々と可能にし、現代社会を築いてきました。

現在も、真理の探究と知の継承及び発展に加えて、持続可能な社会に導く革新的科学技術の創出が求められ、世界最高水準の研究とともに教育に対する期待がますます高まっています。

それに答えるべく、本学では、

- ・確かな専門力
- ・豊かな教養力
- ・柔軟なコミュニケーション力
- ・以上の修得した知識や技能等を統合し活用できる多様な展開力

を身に付け、「挑戦し続けるフロントランナー」として困難に立ち向かう気概と倫理観をもって、より良い社会を築くことができる人材を養成します。

そのために、世界最高水準の研究の中に学生を招き入れ、学生が自ら学び考える教育を実施します。

・養成する人材像

確かな専門力、豊かな教養力、柔軟なコミュニケーション力、多様な展開力を身に付け、科学技術を基盤としてより良い社会を築くことができる、「挑戦し続けるフロントランナー」を養成します。

《学士課程》 「科学技術を基盤として自ら学び考えることができる人材」

学士課程では、基盤的な専門力、並びに、幅広い教養、そして、論理的に表現できる力を身に付け、倫理観と未知の世界に挑戦する意志をもって、自ら学び考えて物事に取り組むことができる人材を養成します。

東京科学大学への統合に際し、教育ポリシーが変更となる場合は、本学「高校生・受験生向けサイト」（巻末参照）等で改めて公表します。

I. 募集人員

学院	系	選抜方法	募集人員	編入学年次
理学院	数学系	一般入試	若干人	2年次相当
	物理学系			2年次相当
	化学系			3年次相当
	地球惑星科学系			2年次相当
工学院	機械系	一般入試	20人 ※1	3年次相当
	システム制御系			3年次相当
	電気電子系			3年次相当
	情報通信系			3年次相当
	経営工学系			3年次相当
物質理工学院	材料系	一般入試	20人 ※1	3年次相当
	応用化学系			3年次相当
情報理工学院	数理・計算科学系	一般入試	20人 ※1	2年次相当
	情報工学系			3年次相当
環境・社会理工学院	建築学系	一般入試	20人 ※1	2年次相当
	土木・環境工学系			3年次相当
	融合理工学系			3年次相当
生命理工学院	生命理工学系	一般入試及び特別入試	10人 ※2	3年次相当

※1：工学院，物質理工学院，情報理工学院，環境・社会理工学院の4学院で合わせて20人を募集します。

※2：一般入試及び特別入試を合わせて10人を募集します。

II. 出願資格

1. 一般入試

- (1) 高等専門学校を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者。
- (2) 日本の短期大学を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者。

2. 特別入試

- (1) 高等専門学校を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者で，学校長が責任を持って推薦する者。
- (2) 日本の短期大学を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者で，学校長が責任を持って推薦する者。

※高等専門学校及び短期大学は，学校教育法により定められたものを指す。

Ⅲ. 生命理工学院における編入学試験の選抜方法について

生命理工学院では、編入学試験を一般入試と特別入試の2つに分けて実施します。一般入試と特別入試では、出願資格、出願手続及び選抜方法等が異なりますので注意してください。

なお、募集人員は一般入試と特別入試を合わせて10人とします。

Ⅳ. 編入学年次相当*

1. 編入学の時期

令和7年4月1日とします。

2. 編入学年次相当

理学院：2年次相当（※化学系のみ3年次相当）

工学院：3年次相当

物質理工学院：3年次相当

情報理工学院：3年次相当（※数理・計算科学系のみ2年次相当）

生命理工学院：3年次相当

環境・社会理工学院：3年次相当（※建築学系のみ2年次相当）

※本学は教育課程に年次を定めていないため、年次相当編入となります。

V. 一般入試について

1. 出願期間 令和6年7月10日（水）から7月12日（金）（7月12日必着）
2. 出願方法 出願書類等は本学所定の封筒に入れ、必ず「書留・速達」で郵送してください。本学へ持参しての出願は認めません。なお、出願書類の到着有無に関する問い合わせには一切応じません。各自、書留の受領証に記載されている引受番号を用いて、郵便追跡システムで確認してください。
3. 出願書類 下記出願書類のうち、ア、イ、エ、オ及びカは、本募集要項に添付してある所定のものを使用してください。キは外国籍の者のみ提出してください。
 なお、特別入試を不合格になった者も出願可能ですが、その際は、下記書類を再度提出する必要があります。

ア 志願票	太線の枠内に、記入してください。
イ 写真票・受験票	写真票の写真欄には、半身脱帽正面向で、出願前3か月以内に撮影した写真（縦4cm×横3cm、カラー）を貼ってください。
ウ 調査書	出身学校所定の様式に出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。 高等専門学校に編入した者は、在籍した高等学校（外国籍の者は母国で在籍した高等学校）の成績証明書（原本）も別途提出（厳封不要）してください。
エ 入学検定料	30,000円を別添の払込取扱票にて郵便局・ゆうちょ銀行又は金融機関の窓口で払い込み、「振替払込受付証明書（お客さま用）」を志願票の所定の貼り付け欄に貼付してください。 ※国費外国人留学生は振替払込受付証明書の提出は不要ですが、国費外国人留学生証明書を提出してください。 ※入学を希望する者又は主たる家計支持者が居住する地域の自然災害により罹災し、災害救助法（昭和22年法律第118号）の適用を入学願書の提出時に受けており、検定料の納付が著しく困難であると認められる場合には、入学検定料を免除することがあります。下記のような場合に免除となりますが、詳しくは出願期間前に入試課までお問い合わせください。 ①主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流出した場合。 ②主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合。
オ 受験票送付用封筒（緑色）	志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入し、 <u>354円分の切手を貼ってください。</u> ※受験票及び試験場案内は7月26日（金）頃発送します。8月2日（金）までに届かない場合は、8月5日（月）以降に入試課までお問い合わせください。
カ 成績開示用封筒（薄紫色）	この成績開示用封筒により、個人別成績を簡易書留にて送付します（令和6年12月までに送付予定）。 志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入し、 <u>434円分の切手を貼ってください。</u> なお、封筒を同封していない者については、個人別成績は送付しませんので、あらかじめ注意してください。
キ 在留カード等（外国籍の者）	日本国籍を有しない者は、在留カードの両面の写し（在留期間満了日前であれば外国人登録証明書でも可）又は、国籍及び在留資格を確認できるもの（パスポートの写し、在日公館の証明書等）を提出してください。（住民票は不可）

4. 入学者選抜方法

(1) 選抜方法

調査書，学力検査，面接によって行います。

(2) 学力検査，面接の内容

科目等	内 容
数 学	微分積分学，線形代数学
物 理	力学，電磁気学，熱力学又は波動
化 学	物理化学，無機・分析化学，有機化学
英 語	英文の読解力，英語による表現力
面 接	個人面接により行い，志望する系における専門的な知識を問うことがあります。 ※建築学系受験者は，面接の際に自分で作成した設計製図の作品を持参してください。

(3) 試験日程・科目等

下表のとおり実施します。なお，8月21日（水）は9時10分までに，8月22日（木）は9時40分までに試験室に集合してください。

試験日	8月21日（水）				
科目等	数 学 9:30～11:30 (120分)	休 憩 (90分)	物 理 13:00～14:30 (90分)	休 憩 (30分)	化 学 15:00～16:30 (90分)

試験日	8月22日（木）		
科目等	英 語 10:00～11:30 (90分)	休 憩 (90分)	面 接 13:00～※

※開始時刻は，志望する系により異なる場合があります。

※学力検査において実施される科目を1科目でも受験しなかった者は，不合格とします。

(4) 試験場

本学大岡山キャンパスで実施します。学力検査の試験場案内は，受験票発送の際に通知します。面接試験場案内については，化学試験終了後に配付します。

5. 合格者発表

(1) 令和6年9月4日（水）12時頃から本学「高校生・受験生向けサイト」（巻末参照）に掲載（PDF形式）します。また，合格者発表と同時に合格者に対して，合格通知書等を発送します。

(2) 合否に関する電話・メール等による問い合わせには一切応じません。

6. 入学手続等

(1) 入学手続については，令和7年2月上旬頃に通知を送付し，入学手続の締切日は令和7年3月14日（金）です。

(2) 入学時の必要経費

①入 学 料 282,000 円（予定）

②授業料前期分 317,700 円（年額 635,400 円）（予定）

※在学中に授業料改定が行われた場合，在學生に適用する授業料額については，その都度公示します。

VI. 特別入試（生命理工学院）について

1. 出願期間 令和6年5月29日（水）から5月31日（金）（5月31日必着）
2. 出願方法 出願書類等は本学所定の封筒に入れ、必ず「書留・速達」で郵送してください。本学へ持参しての出願は認めません。なお、出願書類の到着有無に関する問い合わせには一切応じません。各自、書留の受領証に記載されている引受番号を用いて、郵便追跡システムで確認してください。
3. 出願書類 下記出願書類のうち、ア、イ、オ及びカは本募集要項に添付してある所定のものを使用してください。キは外国籍の者のみ提出してください。

ア 志願票	太線の枠内に、記入してください。
イ 写真票・受験票	写真票の写真欄には、半身脱帽正面向で、出願前3か月以内に撮影した写真（縦4cm×横3cm、カラー）を貼ってください。
ウ 調査書・推薦書	出身学校所定の様式に出身学校長が作成した調査書及び、任意の様式に出身学校長が作成した推薦書を併せて厳封し、提出してください。 高等専門学校に編入した者は、在籍した高等学校（外国籍の者は母国で在籍した高等学校）の成績証明書（原本）も別途提出（厳封不要）してください。
エ 志望理由書	生命理工学院を志望する理由を、現在行っている卒業研究あるいは編入学後に行いたい研究、興味を持っている生命現象などに関連づけて、任意の様式でA4用紙2枚以内で記述してください。
オ 入学検定料	30,000円を別添の払込取扱票にて郵便局・ゆうちょ銀行又は金融機関の窓口で払い込み、「振替払込受付証明書（お客さま用）」を志願票の所定の貼り付け欄に貼付してください。 ※国費外国人留学生は振替払込受付証明書の提出は不要ですが、国費外国人留学生証明書を提出してください。 ※入学を希望する者又は主たる家計支持者が居住する地域の自然災害により罹災し、災害救助法（昭和22年法律第118号）の適用を入学願書の提出時に受けており、検定料の納付が著しく困難であると認められる場合には、入学検定料を免除することがあります。下記のような場合に免除となりますが、詳しくは出願期間前に入試課までお問い合わせください。 ①主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流出した場合。 ②主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合。
カ 受験票送付用封筒（緑色）	志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入し、 <u>354円分の切手を貼ってください。</u> ※受験票及び試験場案内は6月4日（火）頃発送します。6月12日（水）までに届かない場合は、6月13日（木）以降入試課までお問い合わせください。
キ 在留カード等（外国籍の者）	日本国籍を有しない者は、在留カードの両面の写し（在留期間満了日前であれば外国人登録証明書でも可）又は、国籍及び在留資格を確認できるもの（パスポートの写し、在日公館の証明書等）を提出してください。（住民票は不可）

4. 入学者選抜方法

(1) 選抜方法

調査書，推薦書，志望理由書，面接によって行います。

(2) 試験日程・科目等

下表のとおり実施します。

試験日	6月19日（水）
科目等	面接 13:30～

(3) 面接内容

面接では，基礎学力（特に化学），論理的な思考能力，語学力（英語），学習意欲及び生命理工学分野における適性を評価するための口頭試問を行います。

(4) 試験場

本学大岡山キャンパスで実施します。なお，当日の集合場所や集合時間等の詳細は，受験票発送の際に同封する面接試験場案内に記載します。

5. 合格者発表

(1) 令和6年7月9日（火）12時頃から本学「高校生・受験生向けサイト」（巻末参照）に掲載（PDF形式）します。また，合格者発表と同時に合格者に対して，合格通知書等を発送します。

(2) 合否に関する電話・メール等による問い合わせには一切応じません。

(3) 合格者は，本学編入学一般入試への出願はできません。不合格者は再度，必要書類を提出することによって出願できます。

なお，合格発表後に募集要項を請求しても一般入試の出願に間に合わない恐れがありますので，一般入試を併願する場合は予め募集要項を2部請求しておいてください。

6. 入学手続等

(1) 入学手続については，令和7年2月上旬頃に通知を送付し，入学手続の締切日は令和7年3月14日（金）です。

(2) 入学時の必要経費

①入 学 料 282,000 円 （予定）

②授業料前期分 317,700 円 （年額 635,400 円）（予定）

※在学中に授業料改定が行われた場合，在学生に適用する授業料額については，その都度公示します。

Ⅶ. 編入学学生の本学における卒業の要件

1. 理学院においては、3年以上（化学系のみ2年以上）在学し、所定の単位を修得し、かつ、学士特定課題研究及び学士特定課題プロジェクトの審査に合格することを要します。
2. 工学院、物質理工学院、情報理工学院、生命理工学院及び環境・社会理工学院においては、2年以上（情報理工学院数理・計算科学系及び環境・社会理工学院建築学系のみ3年以上）在学し、所定の単位を修得し、かつ、学士特定課題研究及び学士特定課題プロジェクトの審査に合格することを要します。

※（3年次相当編入学）2年以上在学が要件である系に編入学する者は、本学の学士課程に令和5年4月に入学した学生の卒業要件が適用されます。

（2年次相当編入学）3年以上在学が要件である系に編入学する者は、本学の学士課程に令和6年4月に入学した学生の卒業要件が適用されます。

3. 編入学の際、高等専門学校及び短期大学における学修を、本学における授業科目の履修とみなして単位認定を行います。単位認定は、成績証明書及びシラバスの内容に基づき、本学の授業科目の内容に照らして行います。今まで学んだ分野と全く異なる分野の系に編入学した場合は、認定できる単位が少なくなり、3年次相当編入学であっても編入学後2年間では卒業できない場合も起こり得ますので注意してください。

Ⅷ. 感染症予防

出身国により予防接種状況が異なる背景や、本学の感染症に対するリスク管理の観点から、入学者選抜試験に合格した入学予定の留学生（日本国内の他大学、高等専門学校及び日本語学校等出身の留学生を含む。）は、入学前の3か月以内に医療機関で医師が作成した健康診断書を、原則入学前までに提出してください。詳細は本学ウェブサイトの下記 URL を参照してください。

・留学生の感染症対策

<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/health/international>

Ⅸ. 入試情報

1. 出願状況等

本学「高校生・受験生向けサイト」（巻末参照）に、志願者数、合格者数等の資料を令和7年4月以降掲載予定です。

2. 成績開示

- （1）一般入試のみ、受験者本人（代理人は認めない）からの請求に基づき提供します。
- （2）請求方法については、本要項に同封の「成績開示用封筒」に、郵便番号、住所及び氏名を記入し、434円分の切手を貼って、出願書類と一緒に提出してください。
簡易書留にて令和6年12月までに送付予定です。なお、成績開示用封筒を同封していない者には、個人別成績は送付しませんので、あらかじめ注意してください。
- （3）書留郵便は配達時に不在の場合、郵便局に一定期間（1週間程度）保管されます。
郵便局が受取方法等を記した不在連絡票を郵便受けに入れていきますので、郵便局に直接問い合わせて受け取ってください。なお、郵便局での保管期間が過ぎると、本学入試課に返送されてしまいますので、注意してください。

X. 個人情報の取扱い

出願書類に記載の情報は、入試及び学務関連業務のみに使用します。個人情報の取扱いは以下のとおりです。

1. 出願にあたり知り得た個人情報については、①入学者選抜業務、②入学手続業務、③授業料徴収に関する業務を行うために利用することとします。
2. 出願にあたり知り得た個人情報及び入学者選抜の試験成績は、入学者のみ、①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）の業務を行うために利用することとします。
3. 入学者選抜の試験成績は、今後の入学者選抜方法等の検討に利用することがあります。
4. 上記1～3の各種業務での利用にあたり、一部業務を本学より委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。委託にあたり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、個人情報の全部又は一部を提供することがあります。

XI. 注意事項

1. 出願書類等について、虚偽の申請、不正等の事実が判明した場合は、合格等を取り消すことがあります。
2. 願書提出後の出願書類の内容変更は認めません。また、出願書類及び一度納入した検定料は、願書受理後はいかなる理由があっても返還しません。
3. 万一、書類に不備や記入漏れ等があった場合に直接連絡することがありますので、出願期間中及びその直後は、志願票記載の連絡先に必ず連絡がつくようにしておいてください。
4. 本学が交付した受験票を携帯していないと、学力検査、面接を受けることはできません。
5. 試験当日に、学外（駅周辺等）で行っている勧誘等は、本学とは一切関係ないので十分注意してください。これらのことから生じるトラブル等に対して、本学は一切責任を負いません。
6. 障害等がある者は、その障害の種類、程度に応じて受験上及び修学上の配慮を必要とすることがありますので、出願期間前に入試課に申し出てください。
7. 編入学試験に関する最新情報や、不測の事態が発生した場合の対応は、本学「高校生・受験生向けサイト」（巻末参照）で公表しますので、随時確認してください。

※問い合わせは志願者本人が行うこと

東京工業大学 学務部入試課

〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1-W8-103

E-mail nyu.gak@jim.titech.ac.jp

TEL (03)5734-3990 (平日 9:00~17:15 (12:15~13:15 を除く))

※ 正確な回答を期するため、できるだけ E-mail (受験番号, 氏名を明記) にてお問い合わせください。

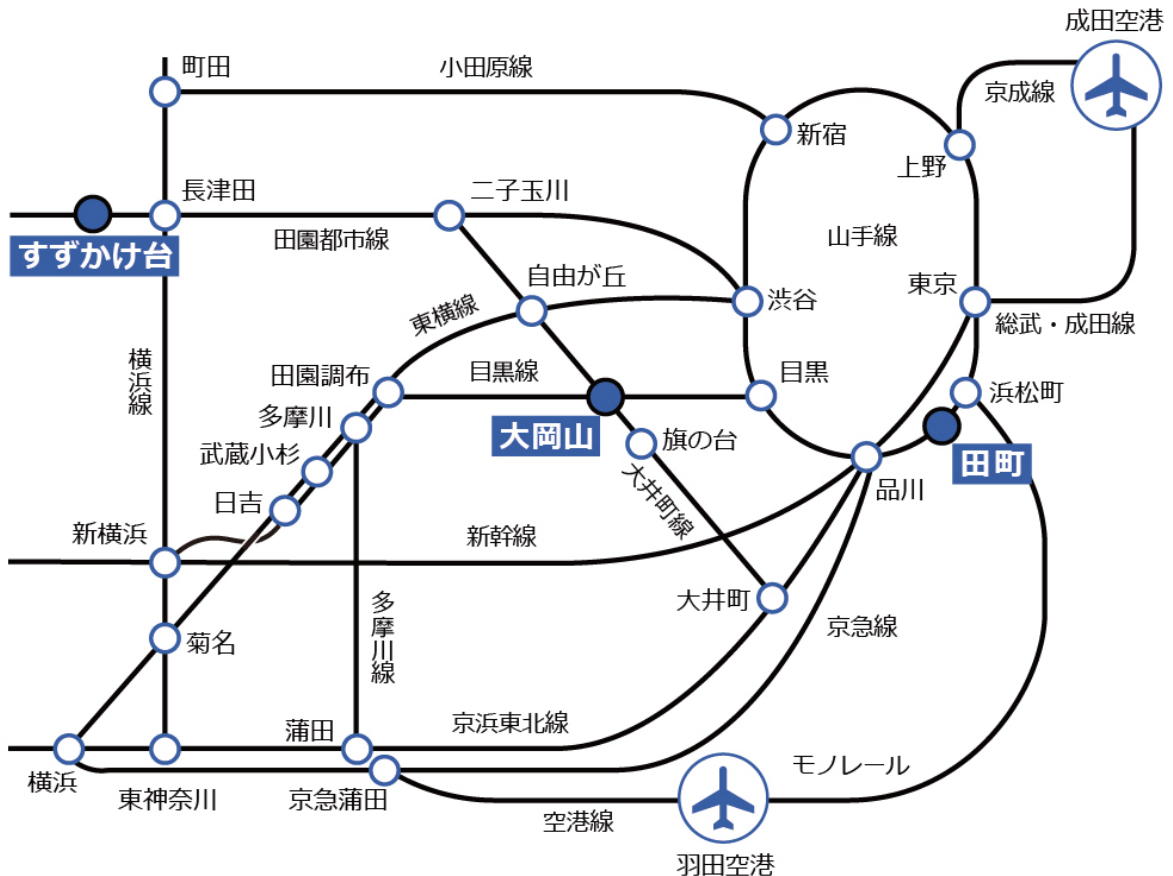
※入試に関する最新情報等

東京工業大学ホームページ <https://www.titech.ac.jp/>

高校生・受験生向けサイト <https://admissions.titech.ac.jp/>

MAP

- 大岡山キャンパス 東急大井町線・目黒線(大岡山駅下車徒歩1分)
- すずかけ台キャンパス 東急田園都市線(すずかけ台駅下車徒歩5分)
- 田町キャンパス JR山手線・京浜東北線(田町駅下車徒歩2分)



※東京科学大学医学部及び歯学部の各種学生募集については、東京医科歯科大学のウェブサイトにて案内しています。